

泉台支え合いの会について



泉台HP →



泉台支え合いの会 会長 田澤六三

自己紹介

- 1951年 (昭和26年) 生まれ、新潟県新潟市出身
- 1998年 泉台区会 (現 泉台自治会) 役員 (街区幹事)
- 2003年 泉台体育協会 会長 (兼 大石体育協会理事)
- 2010年 泉台区会 区長代理
- 2016年 泉台区長 (兼 自主防災会長、～2022年3月)
- 2017年 ABA上尾市防災士協議会 広報部長 (現職)
// 泉台区会ホームページを開設 (9月)
- 2018年 泉台支え合いの会 創立 (2月)、会長 (現職)**
- 2019年 泉台自主防災会で防災担当大臣表彰を受彰
- 2020年 上尾市社会福祉協議会 大石東支部支部長
- 2021年 大石地区子ども会育成協議会 会長 (現顧問)
- 2022年 埼玉県防災会議 委員 (現職)

(支え合いの会で) 2020年～ 「ふれあいサポート」を開始
2022年～ 「ひよこルーム」を開設



泉台支え合いの会 は

2018年2月4日 自治会とは別組織で
ボランティアとして、自治会役員に役割を割り当てない
方針で募集。創立時の協力会員 23名。

創設の経緯

- ・大石支部から提案（当時支部長がマニュアル作成やアンケート調査を実施）
- ・何人もの「困ったさん」対応で社協の方にお世話になり、
発意しました
- ・当初は無理せず「ふれあい訪問」「見守り」でスタート。
対象者わずか 4世帯。



支援メニューの広がり

◆ 2018年 当初の支援内容

- ①見守り巡回 ②ふれあい訪問

◆ 2020年からふれあいサポート開始

- ③買い物同行 ④通院支援
⑤草取り、低木の剪定 ⑥障子貼り
⑦網戸の張替え

- ・買い物同行は自発的に自発的に助け合っていた1組が第1号で、今では利用者が5組です。④の通院支援は2023年から。
- ・草取り、労務サービスも年々申し込みが増え、徐々に支援メニューを拡大。

◆ 利用料

- ①② 無料、
③④⑤⑥⑦ 一律 500円/60分（紙・網など実費別）
250円 /30分



車を使用しての支援は

市社協から運輸局に確認し、

「家事・移動支援が全て定率料金」

ということなら「白タク」行為に当たらない、と確認してもらっています。

移動が不自由な高齢単身世帯、免許を返上した方などが どんどん増えており、年金生活には毎度のタクシー利用は経済的にもかなりの負担になるので、とても感謝されます。

利用者とのコミュニケーションも貴重です。

利用希望者が今後も増加することは確実です。無償では遠慮される方が多いでしょう。保険は同乗者保険でということを理解していただいて利用してもらっています。



ふれあいサポートは訪問活動

ふれあいサポートは単なる移動支援、労務支援ではありません。同乗する社内での会話、作業で訪問した際の会話も貴重なコミュニケーションです。訪問活動と変わりません。



時には公園や寺社の花見に寄り道したりします。

するとほんとは打ち解けて、話に花が咲きます。



泉台ひよこルーム に取り組む

- 市社協からの提案 ～ 孤立しがちな子育て世代をサポートしたい
- 2020年に他自治会の事例を見学 ⇒ 協力者が出てくるか不安？
- ◆ 2021年6月から検討会を開催、
とにかくやってみよう、ということで
ボランティアの協力者を回覧で募集。
⇒ 支え合いの会 会員4人の他に、
一般から **3人も！！ あわせて7人**
- ◆ 内容、用具、名称を検討～
コロナが下火になる時期を見計らって開設へ。



セブン・
シスターズ

泉台ひよこルーム 開設

2022年2月スタート。未就学児対象。

社協「ひまわり基金」で遊具を整備。

日 時：毎月1回1時間+α

場 所：泉台記念会館2階

参加費：泉台自治会員は無料、
非会員は1家族1回100円
(保険料として。他自治会の
方も参加可。)

※ 参加自由ですが、自治会ホームページ
から事前登録をお願いしています。

※ [ここで ひよこルームの動画をご覧ください。](#)



泉台支え合いの会

ひよこルーム

毎月最終水曜日です (12月だけ第3)

音楽と
体操

ニュー
ブロック

おままごと
セット

やりたいの
絵画

パネル
シアター

ボール
プール

絵本読み
聞かせ

かんたん
工作

すべり台



ひよこルームの 紹介

11月 28日 (木)

12月 19日 (木)

1月 30日 (木)

2月 27日 (木)

10時～11時

泉台記念会館 2階

参加申込は
泉台ホームページからどうぞ



<対象は>

乳幼児、未就学児とその保護者のみな
さんです。

近隣自治会の方も
どうぞご参加ください。

<参加費は>

12月はクリスマスグッズの
かんたん手作りがあります。

福祉は一人ひとりの心の交流です

① 無理のない仕組みを作る

協力者が少なくても無理なく運営できる仕組みを作りましょう。

② 協力者はきつという（はず）

回覧でも勧誘でも、理解ある人はきつと出てきます。

③ 利用者増はあせらずじっくり

他人に頼るのを嫌がる人が多いのですが、人生1人だけでは生きることも死ぬこともできないと思います。

紹介で徐々に増えます。焦らずじっくり取り組みましょう。



ご清聴 ありがとうございます

ご質問、お問い合わせは泉台自治会HP（団体・サークル⇒支え合いの会）
から、田澤宛としてご連絡ください。

